

## 40番目の物語（見目麗しいギリシャ娘アイリーン）

——ウイリアム・ペインター『悦楽の宮殿』より——  
(試訳・語義表)

羽 多 野 正 美

トルコ皇帝の一人、マホメットはコンスタンティノーブルを陥落させた際に囚人として捕らえて自分のものとしたギリシャ娘に対して呪うべき残虐な行為をふるいます。

愛の矢がどれ程強いものであるか、又、愛の矢を実際に使う者にどのような結果がもたらされるかを知りたいと思い、物は試しと一度やってみたいとお思いの方、そういう皆さんは、不信心者が愛する女性にふるった、人と思えぬ残虐さ（これからお話ししますが）をお知りになるとき、愕然として、もう間違いなく憐憫の情にうたれることでしょう。

私がお話ししようとしている物語の主人公は、偽の予言者の、あのマホメットのことでなく、スレイマン・オットマン皇帝<sup>(1)</sup>の曾祖父<sup>(2)</sup>で、トルコの統治者であった者のことです。当時のキリスト教国の領主たちすべてにとって不名誉、永遠の汚名となったあの事件の首謀者、つまり、コンスタンティノーブルを乗っ取り、東の帝国を、我が主の紀元1453年にキリスト教国の皇帝であったコンスタンティヌスから奪い取ったあの男のことです。

マホメットがコンスタンティノーブルで大勝利をあげたそのとき、豊かなその都市から奪い取った戦利品の中に、ギリシャ人の乙女がいました。彼女は並外れて美しい女性で、あらゆる人の目を惹きつけ、見る者すべてを「奇跡的な美しさ」として驚嘆させたのです。その娘の名はアイリーンと言い、歳の頃は16か17でした。その娘を軍の隊長がこの世に存在するものの中で国王にもっとも喜んで貰える宝石（彼はそう思ったのです）として献上したのです。若い皇帝マホメットはとりわけ女好きでしたので、この娘を一目見るなり、その美しさを心に刻みつけられ、戦いが終結したら彼女にしかるべき処遇を授けるので、それまで自分のためにとっておくようにと、即座に命じられたのです。

退却のラッパが聞こえ、帝国の情勢が間違いなく元の平和な状態に戻ったと思われるとき、皇帝は、自分の心に傷穴を開けて心の奥深く侵入した、あのアイリーンの美しさ

を思い出され、気もそぞろに、すぐさま彼女を連れてくるようお命じになりました。そして、皇帝は、意のままに彼女を眺めたとき、自分でも驚嘆するほど新しい炎に燃え上がりました。やがて皇帝は彼女と戯れ遊びほうける以外何も嬉しいと思わなくなってしまいました。

このようにして、皇帝はすっかりアイリーンに心を奪われてしまい、魂すべてが完全に恋の虜となってしまうので、夜昼となくじっとしていることすらできないほどになってしまわれました。それ程、彼は愛しのアイリーンを溺愛し、身も心もすっかり彼女に明け渡してしまい、彼女以外に喜びを感じるものがなくなってしまったのです。

皇帝は恋慕の情を高ぶらせるばかりで、その溺愛は3年も続きました。そのため彼は帝国の栄光や名誉に関わることをすべてを忘れ始め、ついに帝国の国事行為をバシヤ（州総督）<sup>(3)</sup>たちにまかせきりにするようになりました。つまり、彼は、自分では何もせず、公務の執行すべてをバシヤたちにまかせてしまったのです。一般の人々は、このようにもたらされた帝国の混乱と無秩序に対し、又、腐った政府に対し、陰口をたたき始めました。（特に、欲にかられて腐敗したバシヤたちが自分たちの利益を貪ることに精を出し、人民からの搾取によって自分たちを豊かにしようとするだけのことばかりしたからです。）

一方、軍事教練以外何もしないで育て上げられた、イエニチュエリ（歩兵）<sup>(4)</sup>と呼ばれる軍人たちは、「自分たちの主君は、ただただ酒色に溺れた日々を過ごすのみで、帝国に利益をもたらす行為を一切してくれないではないか」と、はっきり文句を言い始めるとともに、公然と主君を誹り、中傷し始めました。煎じ詰めれば、事態は、不満をぶちまけると言うよりも暴動と呼んだ方が良いかもしれない程の荒廃状態になったのです。しかし、主君は、自分の楽しみが奪われるようなことを一言でも耳にすれば、そのようなことを口にした者をたちどころに死刑にする程の、恐ろしい、残忍な、激しい性質の持ち主であることを皆知っていましたので、皇帝に面と向かって箴言しようとする家臣は一人としていませんでした。しかも、今の皇帝はギリシャ娘の美しさにのめり込んでいましたから、怠惰な生活から皇帝を引き離そうとするようなことをすれば、皇帝が烈火のごとく怒ることは日の目を見るより明らかなことでした。

哀れなことに、皇帝はあまりにも彼女に心を奪われていたので、昼夜を分かつたず、彼女のもとを離れなかつたばかりか、彼女の美しさが心の奥深く刻みつけられていたので、情熱の火を絶えず心の中に燃やし、獣の遊びの中に身を委ね続けていました。そのため、市民一人ひとりとは勿論、国全体を見ても、つまり、国中が明らかに一致して国王に対して反逆の気持ちを抱き、やがては現皇帝を見限って、勇敢な、戦闘的な帝王を選ぼう、そして、その帝王の軍事強化や指示のもとに戦い取った領土を保全しよう、又、帝国の国境をさらに広げ、領土を拡張しようと考えていました。

ムスタファは気の優しい、気さくな方でした。彼は皇帝と一緒に育て上げられた方で、皇帝と親密な間柄の方でしたので、皇帝がギリシャ娘と一緒にいるときでも、自由に皇

帝の部屋へ出入りができました。彼は、やっと好機が到来したと思ったある日、皇帝の所に行きました。皇帝はムスタファの考え方をとても好んでいましたので、二人だけで話をしようと庭へ出られました。二人だけになったとき、ムスタファは、しきたりどおりうやうやしくお辞儀をして言いました。「我が主君でご主人様、畏れ多くも召使いの身を省みず、恐怖心にうち震えながら、そして、殿のご不興をかっても狼狽することがないことを願いながら、二の足を踏むようなことを腹藏なく思い切ってお話し申し上げたいと思います。私は、殿の御身の御安全や御安泰のために、（又、それ以上に）帝国全体の安寧のために、今こそ心よりご忠言申し上げたいのです」。

マホメットは明るい表情で次のように答えて言いました。「お前の心に宿るそのような寒々した恐れは捨て、思うがまま、正直に申すが良い。私に諫言したいことがあれば、はっきり言ってくれ」。

ムスタファは言いました。「殿、おわかりいただきたいと思いますが、私が心の奥深く密かに抱くことを申し上げれば、私は極めて差し出がましい、無分別なことをしようとしているのではないかと恐れます。しかし、子供の頃から受けた躰や良心の叫びとして私の心に湧きおこる義務の心、それに、私の忠義心に対して殿がお示し下さったお情けを考えますと、自分の心を抑えることができない程、（どのような勇敢な気持ちが私を揺り動かすのかわかりませんが）殿にどうしても申し上げなければならないという気持ちで一杯になるのです。今何が必要かをお考え下されば、なる程そうだと思っただけの事柄でございます。殿は今、あまりにも倫理にもとる（そう思われるのです）愛欲のヴェールに包み込まれていらっしゃるが故に、本来大切である事柄を見失っていらっしゃいます。（殿、お聞き下さい）殿がコンスタンティノープルを獲得されて以来過ぎてこられた生き様、つまり、殿がこの3年間没頭してこられた過度のお楽しみみのせいで、兵士や臣民たちのみならず、殿にもっとも忠誠を誓った諸侯たちまでが殿に陰口をたたき、謀反や奸計を企てようとする始末です。殿、もし今、私が殿に対してご不敬を申しあげているのであればどうかお許し下さい。このように申し上げますのも、これまでとはうって変わった殿のお姿に驚きを隠さない者は誰一人としていないからです。今や、殿の価値は下がり、昔の殿の高潔さや雄々しさは蔑さげすまれています。殿は卑しい身分の女を獲物とされましたが、今の殿はその女の略奪品となってしまわれています。すっかり彼女のへつらいや誘惑のなせるままになってしまわれ、殿に備わっている理性の力も判断の力も、病んで熱に冒されたお心のどこにもその居場所を見出すことができなくなってしまっているのです。殿、お願いですから、少しご自分の心の中にお入りになり、過ぎ去ったこの3年間をどのようにお過ごしになったか、どうかご自分の人生を振り返ってみて下さい。ご先祖さまや先達者たちは、栄光を勝ち取るのにどれほど血を流したか、又、勝ち取った栄光をどれほど思慮深く管理してきたか、どれほど賢明に維持してきたかを、殿の御前にはっきりお示しにならないのですか。あの方々の記憶

すべき勝利、それらが心の琴線に触れることはないのですか？ あの方々が不滅だとされる不屈の精神や勇氣、世界に轟いているあの方々の名声、それらはもう殿のお心から消え去ってしまったのですか。あの方々の功績を刻んで世界の隅々に建てられた記念碑や銅像は殿の記憶から抹消され打ち捨てられてしまったのですか。イタリアを属国にしてローマで即位し、東洋の帝王であると同時に西洋の帝王にもなってやると闘志を燃やしておられた、若い頃のあの熱い思いはいったいどこへ行ってしまったのですか。殿が今とっている道は帝国を拡大し拡張する道ではございません。それどころか、国を締め滅ぼしてしましましょう。現状を維持するどころか、縮小し破滅させてしまう道です。もし、高貴な殿のご家族やご親戚の大本を作られたオットマン皇帝が今の殿のように墮落した怠惰な日々を送られていたなら、殿はこの大ギリシャ王国を相続できなかったでしょうし、地中海を囲むガラティア王国<sup>(5)</sup>を、ビテュニア王国<sup>(6)</sup>を、又その属州を支配できなかったでしょう。同じように、(父親に生き写しで、父親同様の勇敢さを示す種々の戦勝を残した)オットマン皇帝の息子のオルカンもリカオニア<sup>(7)</sup>、フリギア<sup>(8)</sup>、カリア<sup>(9)</sup>を勝ち取ることはできなかったでしょうし、領土をヘレスポンテ<sup>(10)</sup>にまで広げることもできなかったでしょう。ヨーロッパを最初に侵略し、トラキア<sup>(11)</sup>、シリア<sup>(12)</sup>、ロシア、ブルガリアを征服したオルカンの後継者、アムラテスに至ってはどうか申し上げたら良いでしょうか。バイアゼットも同様です。40万人のスキタイ人<sup>(13)</sup>の騎兵と60万人の歩兵を戦場に繰り出し、自身は神の使いであると豪語したタンバレイン大王の首を彼がはねてご存知でしょ。マホメットお爺さまの勇猛果敢な数々の英雄的行為のことは、殿も先刻ご存知のことで、今さら申し上げる必要もないでしょうが、お爺さまはマケドニア<sup>(14)</sup>を征服され、イオニカム海<sup>(15)</sup>に至る諸国を震撼させました。リュディア人<sup>(16)</sup>やシチリア人を攻め立て、何度となく出陣、遠征され、その都度素晴らしい戦績を残されました。でも、お父上のアムレートさまのことは、涙や悲嘆なしには思い出せません。お父上は40年もの長きにわたって陸海共に震撼させましたが、激しいあのギリシャ軍との復讐戦であれほどの強腕をおふるいになったのに、深手を負われてしまいました。しかし、そのことは今も語り草となって、トマオ山脈<sup>(17)</sup>からピンドゥス山脈<sup>(18)</sup>にまで響きわたっています。お父上はフォシア人<sup>(19)</sup>を降参させ、アテネ、ペオティア<sup>(20)</sup>、アエトリア<sup>(21)</sup>、カラマニア<sup>(22)</sup>を、さらに、モレア<sup>(23)</sup>からコリント海峡にいたるすべての未開国家を占領なさいました。ここで今さらあの熾烈な戦いのことを持ち出す必要はないかと思いますが、お父さまはジギスメント皇帝<sup>(24)</sup>ともバーガンディ<sup>(25)</sup>のフィリップ公爵とも戦われ、キリスト教徒の全軍を打ち砕かれ、皇帝もバーガンディ公爵も捕らえてアンドリオノポリス<sup>(26)</sup>へ送られました。その一方で、どう猛な軍隊をハンガリーへ派遣されました。このことは、殿ご自身が参戦されましたから、殿ご自身が忠実な証人としてはっきりご記憶かと存じます。ですから、栄光に満ちた数々の遠征や名高い勝利の陰に、どれ程勤勉な遠征、どれ程大変な遠征が必要であった

か、どうかしっかりお考え下さい。殿は、先帝たちが宮廷で女たちに囲まれて怠惰な日々を送っていたとしても、今の帝国を相続していたとお考えですか。これ程素晴らしい数々の属州の君主となっていたとお考えですか。今の状況を申し上げれば、殿に従い、殿をたてる家臣やその配下の者も、（殿に寄せる愛情からというよりも殿に対する恐怖心からそうしているだけのことで）運命が背を向ければ、たちどころに殿に対して謀反を起こす輩ばかりになっているのです。（ご存知のように）キリスト教徒たちは、殿の破滅と滅亡の時期をずっと狙っているのですよ。さらに、伝え聞くところによれば、（殿もご存知のように）、ローマのビショップであるローマ法王はすべての高僧を召集して結束させるとともに、キリスト教国のあらゆる君主、諸侯を和解させ、力を結集して我が軍を撃破し、殿の手から王位を剥奪し、我が帝国を奪い取ろうとしていることです。彼らは殿の宿敵であるサファビー朝のペルシャ王と手を組むかもしれませんし、宿敵であるエジプト王と手を組むかもしれません。彼らがもしそういうことを実行に移せば、（ああ、そんなことは神よ禁じたまえ）この帝国は滅びてしまいます。ですから、殿、これからはお知恵の総力をあげて、長年にわたって省みなかった理性の力を再びお取り戻しになって下さい。目に封印をなされた深い眠りからお目覚め下さい。百年もの長きにわたって恥辱と避難の人生を送るよりも名誉ある一日を送る方が良いとしてご先祖さまが歩まれた道をお歩み下さい。帝国の政治にお励み下さい。どうか、女々しい生活をお捨てになって下さい。再び以前の気高さと徳目の香りを身に纏<sup>まと</sup>って下さい。心の奥に巣くっている恋情すべてを今ただちに断ち切ることはできないのであれば、少しずつでも減じて下さって、臣民たちに何らかの希望をお与え下さい。臣下の者は皆、殿は完全に自分を見失われていて、もはや回復の見込みがないと思っているのです。あるいは、あのギリシャ娘がそれ程御意にかなっているのであれば、すべての出陣、遠征の折りに彼女を同行させては如何ですか。お二人で遠征し、一方で彼女の美しさを楽しまれ、他方で軍事行動を取られても良いではないですか。家に籠りきりのせいで殿は永遠の汚名を着せられ、臣下の者は愚痴をこぼす……そんな生活を送っているお姿より、戦勝をあげ相手国を服従させ、その一方で、殿の腕の中で彼女を喜ばせるというお姿の方がはるかに立派なお姿だと私には思えるのです。殿、どうかお願いですから、しばらくあの娘からお離れになってみて下さい。そうすれば、新しい日々が、今お過ごしの日々とは違う、はるかに素晴らしい日々だと、きっとおわかりいただけると思います。御意にかなえば、今一つ申し上げたいことがございます。それは、つまり、ご先祖さまの戦勝も、殿ご自身が果たされた征服も、もし殿がそれらを維持し増強しようとなさらない限り、何のための征服かわからなくなってしまいます。獲得した物を維持することは戦勝と同じくらい名誉なこととして称賛されるべきことだからです。どうか、殿、今はご自身を征服なさって下さい。もし私が殿のお気持ちにいささかでも逆らうことを申し上げたということであれば、その過ちは殿の名誉と安寧を願って私が忠臣

として殿を抱く義務と心配りのせいだとお考え下さって、いつものお情けによってお許し下さいますよう平にお願いいたします」。

皇帝マホメットはこのように長い説論を家臣のムスタファから聞いていましたが、しばらくの間石のように固まっていた。その後もししばらくの間視線を地面に落としていましたが、突然顔色を変えてムスタファを睨みつけました。心の乱れと不穏の色とがはっきり顔に現れていました。その形相を見た家臣のムスタファは、可哀想に、もう自分の命はないと思った程でした。ムスタファの言葉があまりにも鋭く心に突き刺さったために、皇帝には自分がどうしたら良いか、又、どう心に決めたら良いかわからなかったのです。

皇帝は、心の中で良心が激しい闘いを繰り広げるのを感じていました。なぜなら、ムスタファは本当のことを話してくれたのであり、主人への忠臣として忠言してくれたことだとわかっていたからです。

しかし、その一方で、ギリシャ娘の美しさが目の前にちらつくとともに、彼女を棄てなければならないという思いにも襲われ、心がすさまじく動揺しましたので、そのときの皇帝には心臓が体から引きちぎられる思いだったのです。そして、このように異なった感情の嵐に翻弄され、いろいろな思いに心を揺さぶられながら、皇帝は怒り狂って血走った目でムスタファを睨みつけながら言いました。「不敬も甚だしく、言いたいことを言ってくれたものだと思うが、一緒に学び育った仲でもあるし、これまでお前が余に示してくれた忠義に免じて、この度のことは許そう。はっきり言おう。太陽が黄道12宮を一周するまでに、余が余自身に対してどのような権力や支配力を持っているか、又、恋情の手綱を自分がどのように操ることができるかを、お前にも他の者たちにも見せてやろう。それまでに手配して、すべての貴族、バシヤ、軍の隊長を明朝この宮殿の大ホールに集めてくれ」。

皇帝はこのように決断を言うと、そのままギリシャ娘のところに行かれ、昼夜ずっと一緒に過ごされ、これまで以上に彼女を慈しまれたのです。更に、彼女を喜ばせようとなさって、夕食も一緒にとられました。そして、夕食が終わると、「もっとも貴い宝石で身を飾り、持っている衣装の中でももっとも高価な衣装を身にまとうように」とお命じになりました。哀れにも、召使い女はそれが死の衣装になるとはつゆ知らず、皇帝の命令に従いました。

一方、ムスタファは皇帝の心を今一つ量り知ることができずにいましたが、指示された時間に貴族たちすべてをホールに集めました。集まった者は皆、皇帝がこれまで長い間部屋に閉じこもったまま姿を現わそうとされませんでしたから、なぜ皇帝がこのように気を変えられたのかと訝っていました。そのため、なぜこのように突然召集されたのかと、思い思いに話しておりました。そのとき、ご覧あれ！ トルコ皇帝がギリシャ娘の手を引いてホールに入ってこられたのです。そのギリシャ娘は装いを凝らし、これま

でとは打って変わった姿になっていました。その姿はこの世の者というより天上の女神と見まがうほどの姿で、全身が希に見る卓越した美しさで輝いていました。

ホールに入ってきた皇帝は、美しいギリシャ娘を左手に抱えたまま、しきたりどおりの諸侯の挨拶をお受けになりました。皇帝はホールの真ん中に立ったまま、すさまじい形相で周りを睨みつけていましたが、集まった者に向かって口を開きました。

「余の知るところ、皆の者は、余が（恋に心を奪われ）昼夜を隔てずこのギリシャ娘にべったりで、心も上の空だと言って、愚痴や謀反のことばかり言っているそうではないか。お前たちの中には、余のことを本心思ってくれ、心配してくれる者は一人もいないことがわかった。この上なく美しい、この上なく愛くるしい、希有の女を手に入れたからとはいえ、余がいつまでもその女を忘れることも捨てることもできないときには、何度でも余を諫めてくれるべきではないか。皆の中に申し開きできる者はいるか。自分の思うことを余に対して腹藏なく意見を言ってくれて良いではないか」。

集まった者は皆、信じられない程美しい女性を目の辺りにして、ただただ感嘆し、見とれていました。それと同時に、皇帝が彼女の所に入り浸りだったわけがやっとわかったと互いに言い合いました。皆の言葉を聞いて、残忍な異教徒の帝王は言いました。「さあ、皆の者よく聞け、余の心をこのように捕らえて離さなかったものは、もはやこの世には存在しないと宣言しよう。これからは、ご先祖さまの栄光を護り、オットマン・トルコ人の勇敢さを示そう。今言ったことは余の胸の奥にしっかりとたみ込んだ。だから、余が死なない限り、決して余の記憶から消え去ることはない」。

こう言い終えるや、皇帝は、やにわに一方の手でギリシャ娘の髪を掴み、もう一方の手で腰からサーベルを引き抜きました。そして、皆が仰天するのを尻目に、黄金の髪を手絡めとるように巻き込んだかと思うと、一刀両断のもとに首をはねたのです。

皇帝は言いました。「さあ、これでお前たちの皇帝は自分の心を制御し操ることができるのだということがよくわかったであろう」。

その余勢をかって、怒りの気持ちのはげ口を求めるかのように、すぐさま、皇帝は80の陣営に、つまり、10万人の兵士に出陣命令を下しました。皇帝はブースリン砦を撃破し、ベルグラード<sup>(27)</sup>を包囲しました。しかし、運命の女神は彼に味方せず誉れ高い、あの高名なマシー・コルヴァン王<sup>(28)</sup>の父で、「白騎士」の異名を持つ、ジョン・フニアデス將軍<sup>(29)</sup>指揮下のキリスト教徒との特筆すべきあの戦いで敗れ去ったのです。

#### 訳者注

- (1) スレイマン一世（1494頃-1566）。オスマン帝国第10代のスルタン。在位1520-66。13回の遠征により、オスマン帝国の最盛期を築き上げた。
- (2) 1453年にコンスタンティノープルを陥落させた征服王メフメト（マホメット）2世は第7代皇帝であるので、第11代皇帝スレイマン大帝の曾祖父にはあたらぬ。小話がフィ

クションであることを示している。

- (3) 「パシャ」の古い言い方。ヴェズィール（宰相や大臣）やベイレルベイ（州総督）に与えられた称号。
- (4) スルタン直属の精鋭常備軍歩兵。捕虜となったキリスト教徒の青少年たちから優秀な者が選抜された。選抜された若者たちはイスラム教に改宗させられ、部隊に配属された。「イエニ」は「新しい」, 「チェリ」は「兵士」を意味する。
- (5) 小アジア（古代アナトリア, 現トルコ）中部にあった王国。初期のキリスト教会があった。現トルコの首都アンカラを中心とした地域。
- (6) 小アジア北西部の王国。
- (7) トロス山脈（小アジア南部）の北にあった小アジアの一地方；後にローマの属州となった。
- (8) 小アジアの中部から北西部にわたっていた古代国家。フリュギアともプリュギアともいう。
- (9) 古代アナトリア南西部にあった古代国家のあった地域。
- (10) ダーダネルス海峡の古代名。
- (11) トラーキともいう。バルカン半島南東部の地域。
- (12) 現在のシリア, レバノン, イスラエルとその周辺を含んだアジア西部の古代の王国。後にローマ帝国の属州となった。
- (13) イラン系の騎馬民族。黒海北岸の草原地帯を支配した。
- (14) ギリシャ北方にあったバルカン半島の古代の王国。紀元前4世紀, アレクサンダー大王の時代に四海に君臨したが, 前167年ローマの属州となった。
- (15) イオニア海。アルバニアからギリシャ南西部にかけた海域。
- (16) 小アジアのリディア地方を中心に栄えた古代王国を建設した民族。
- (17) トロス山脈のこと。トルコ南部を地中海にほぼ沿う形で連なる。
- (18) ピンドス山脈のこと。ギリシャ北部からアルバニア南部にかけて連なる。「ギリシャの背骨」と呼ばれる。
- (19) 古代ギリシャのフォシス（コリント湾北部）地方に居住した民族。
- (20) 現ボイオティア。ギリシャ中部の古代国家。オイディプスにまつわる神話等で知られる都市, テーベがある。
- (21) 古代ギリシャの山岳地帯。現在のアカルナニア県東部のアイトーリア。
- (22) カラマン侯国。中部アナトリア南部の地域。かつてはコンヤの一地域であった。
- (23) ペロポネソス半島のこと。ギリシャ南部の半島で, 初期ミケーネ文明の中心地。
- (24) ジギスムント（1368-1437）ハンガリー王。後の神聖ローマ帝国皇帝。
- (25) ブルゴーニュのこと。
- (26) アドリアノーブルのこと。ギリシャの古代トラキア地方にハドリアヌス皇帝が建設した都市。現エディルネ。
- (27) 現セルビアの首都, ベオグラードのこと。
- (28) マシアス・コルヴィヌス（1443-90）。フニャディ・ヤーノシュの2番目の息子。18歳でハンガリー王, クロアチア王となった。後に, ボヘミア王, オーストリア公爵をも兼ねた。
- (29) フニャディ・ヤーノシュ（ヤーノシュはジョンのハンガリー名, ハンガリーでは氏, 名の順に記載される）（1388-1456）のこと。ハンガリーの英雄, ワラキア人（ヴラフ人ともいう）の父とギリシャ人の母との間に生まれ, ワラキアの白騎士（the Chevalier Blanc de



Valaigne）と呼ばれた。トランシルヴァニア総督。

### 訳者あとがき

これはウィリアム・ペインターの『悦楽の宮殿』に収められている100篇の物語のうち、40番目の物語（以下、「見目麗しいギリシャ娘アイリーン」）の日本語訳である。訳に使用したテキストは William Painter, *The Palace of Pleasure with an introduction by Hamish Miles and illustrations by Douglas Percy Bliss* (The Cresset Press, London, MCMXXIX) (4巻本) である。このテキストはオックスフォード大学印刷局で機械漉きの紙に500部、手漉きの紙に30部が印刷された。私の手許にあるテキストには第139冊目と記されている。

「見目麗しいギリシャ娘アイリーン」は、もともとマッテオ・バンデロ (Matteo Bandello; c. 1480-1561) によってイタリア語で書かれ、第1巻、第10話として『小話集』(Novelle) に収められた物語を典拠としている。しかし、ウィリアム・ペインターはイタリア語によるバンデロの物語から直接英語に翻訳したのではなく、ボエスチュオー・ド・ローニイ (Boaistuau de Launay; c1517ナントで生まれ、1566パリで死亡; ピエール・ボエスチュオー、ピエール・ローニイとも呼ばれる。翻訳者。ナヴァルのマルグリット (Marguerite de Navarre; 1492-1549) の小話集 (1558年刊。『エプタメロン』(Heptameron) として知られる。『ヘプタメロン』とも『ナヴァル王妃の七日物語』とも訳される) の最初の編纂者として知られる) がバンデロの『小話集』をフランス語に翻訳し、『悲劇的物語集』(Histoires Tragiques, Paris. 1559) として編纂したものを英語に翻訳し、『悦楽の宮殿』に収めたと考えられている。

『悦楽の宮殿』所収のいずれの物語にも段落がない。「見目麗しいギリシャ娘アイリーン」もその例外ではない。しかし、この日本語訳では読者の便を考慮して段落をつけた。又、「見目麗しいギリシャ娘アイリーン」は、他の物語同様、「語り」の形を取っている。そのため、語句の繰り返しが多いためか、関係詞や句読点の連続で一つの文が非常に長い。日本語に馴染まない語句の繰り返しや違和感のある長文は使わないように心がけたが、不自然な繰り返しや長文があるかもしれない。原著の「語り」を念頭にお読みいただければ幸いである。

なお、訳文中に現代社会にそぐわない表現があることを恐れるが、原著が書かれた時代背景を忖度してお読みいただければ幸いである。

「見目麗しいギリシャ娘アイリーン」は近世英語で書かれている。綴り、語義とも現代英語とは異なっている。綴りの異同はほぼすべての単語に及ぶため、それを記述することは量的に不可能であるが、語義については語彙表を作成した。

A Lexical Word List for ‘The Fortieth Novell’ (Hyerenee the Faire Greeke)  
of William Painter’s *The Palace of Pleasure* with an introduction  
by Hamish Miles and illustrations by Douglas Percy Bliss  
(The Cresset Press, London, MCMXXIX)

Masami Hatano

page	line(s)	words in text	listings in <i>OED</i>	meaning
153	1	trampe	tramp, trampe, <i>Obs.</i>	Temper of iron or steel. Also <i>fig.</i> 1566 Painter <i>Pal. Pleas.</i> I. 98 b, If you doe euer make any prooffe of trial to know of what trampe the arrowes of Loue be. (first citation) <i>Ibid.</i> 166 b, The King of England..sent him an excellent harness with a sword of the self same tramp.
	4	Beastlie infidell	Beastly infidel	Inhuman, brutally cruel. <i>Obs.</i> One who does not believe in (what the speaker holds to be) the true religion; an ‘unbeliever’. <i>Obs.</i>
	5	declare	declare	To manifest, show forth, make known; to unfold, set forth (facts, circumstances, etc.); to describe, state in detail; to recount, relate. <i>Obs.</i>
		historie	history	A relation of incidents (in early use, either true or imaginary; later only of those professedly true); a narrative, tale, story. <i>Obs.</i> (exc. as applied to a story or tale so long and full of detail, as to resemble a history in sense 2.)
		false prophete	false	Prefixed to personal designations: Pretended, that is not really such; esp. in <i>false god, prophet.</i>
	8	princes	prince	A sovereign ruler; a monarch, king. Now <i>arch. or rhetorical.</i>
	12	wight	wight	A human being, man or woman, person. Now <i>arch. or dial.</i> (often implying some contempt or commiseration).
		wonder	wonder	To regard with wonder; to marvel at: often implying profound admiration, <i>Obs.</i> 1567 Painter <i>Pal. Pleas.</i> II. 156 b, That which was more to be wondred in hym. (second citation)
	13	Hyerenee		= Hiren, Irene

page	line(s)	words in text	listings in OED	meaning
			Hiren, <i>Obs.</i>	[A corruption of the female name <i>Irene</i> , F. <i>Irène</i> .] The name of a female character in Peele's play of 'The Turkish Mahamet and Hyrin the fair Greek' (a 1594); used allusively by Shakspeare and early 17th century writers as meaning 'a seductive woman', a harlot.
	14	gratifie	gratify	To make a present (usually of money) or give a gratuity to, esp. as a reward or recompense, or as a bribe; to remunerate; to fee. †Also, to reward (an action, services, etc.). Now <i>arch</i> .
	16	wanton		Lascivious, unchaste, lewd. †Also, in milder sense, given to amorous dalliance.
	17	graven	grave	To form by carving, to carve, sculpture. <i>lit.</i> and <i>fig.</i> ; also <i>absol. Obs. exc. poet.</i>
	18	straighte	straight	Of conduct: Free from crookedness; frank, honest.
	20	Retracte reduced	retract, <i>Obs.</i> reduce	Retreat on the part of an army or force. To bring (a thing, institution, etc.) back to a former state. Also without const. <i>Obs.</i>
		sure	sure	Free from or not exposed to danger or risk; not liable to be injured or destroyed; = <u>safe</u> <i>a.</i> 6, <u>secure</u> <i>a.</i> 3. Const. <i>from. Obs.</i> (or merged in other senses).
	21	estate	estate	State or condition in general, whether material or moral, bodily or mental.
	24	surprised	surprise	To 'take hold of' or affect suddenly or unexpectedly. † <i>a.</i> Chiefly <i>pass.</i> To be seized <i>with</i> (or <i>of</i> ) a desire, emotion, etc., a disease or illness. <i>Obs.</i>
	26	cruellie	cruellie	Painfully, sorely; excessively.
	27	praie	prey	One who or that which falls or is given into the power of. (b) an injurious influence; a victim: ....
	28	Contentation indure	Contentation indure endure	The resulting fact of being satisfied; satisfaction. <i>Obs.</i> <i>obs.</i> form of <u>endure</u> <i>v.</i> = <u>indurate</u> . To last; to suffer continuously.
154	2	ornament	ornament	<i>fig.</i> A quality or circumstance that confers beauty, grace, or honour.
	3	Baschats	bashaw pasha	The earlier form of the Turkish title <u>pasha</u> . <i>Hist.</i> A title formerly borne in Turkey by officers of high rank, as military commanders, and governors of provinces. Formerly, esp. in the case of military commanders, written <u>bashaw</u> .

page	line(s)	words in text	listings in OED	meaning
	4	reposed	repose	To confide or place one's trust in, to rely on, a thing or person. <i>Obs.</i>
	5	vulgar	vulgar	Of persons: Belonging to the ordinary or common class in the community; not distinguished or marked off from this in any way; plebeian: a. With collective terms, as <i>people, sort</i> . To murmur; to utter complaints murmuringly; to grumble, complain; to be discontented or dissatisfied. <i>Obs.</i>
		grudge	grudge	<i>obs. form of ill.</i> Morally evil; wicked, iniquitous, depraved, vicious, immoral, blameworthy, reprehensible.
	6	il	il	<i>fig.</i> Eager desire to get or keep for oneself.
	7	avarice	avarice	One of a former body of Turkish infantry, constituting the Sultan's guard and the main part of the standing army. The body was first organized in the 14th century, and was composed mainly of tributary children of Christians; after a large number of them had been massacred in 1826, the organization was finally abolished.
	9	Janissaries	janizary, janissary	Of a person, nation, etc.: Naturally disposed to warfare or fighting; skilled in war, martial; courageous in war, valiant; fond of war, bellicose.
		warlike	warlike	To take away from the reputation or estimation of, to disparage, depreciate, belittle, traduce, speak evil of. Now <i>rare</i> . To defame or calumniate; to assail with slander; to spread slanderous reports about, speak evil of, traduce (a person, etc.).
	11	detract	detract	Openly, in public, publicly. <i>Obs.</i> Womanish, unmanly, enervated, feeble; self-indulgent, voluptuous; ....
		slaunder		To bring on, bring about, induce, occasion, cause, procure; to bring <i>upon</i> (a person, etc.), to inflict; to wage (war) upon. <i>Obs.</i> 1566 Painter <i>Pal. Pleas.</i> I. B ij b, Determined by common accorde, to inferre warres vppon the Romaines. (third citation) (first citation: c1540 <i>Boorde</i> )
	12	commonlie effeminate	commonly effeminate	A concerted movement to overthrow an established government; a revolt, rebellion, mutiny. Now <i>rare</i> .
		inferring	infer	
	14	sedition	sedition	

page	line(s)	words in text	listings in OED	meaning
		murmure	murmure	The expression of discontent or anger by inarticulate complaint; muttered or indistinct complaint, grumbling or repining. <i>Obs.</i>
15		hardie	hardy	Bold, courageous, daring.
17		withdrawe	withdraw	To keep back, restrain (a person, his desires, etc.). <i>Obs.</i>
18		Dronke	Drunk	<i>fig.</i> = Intoxicated.
		leste	least	Little beyond all others in size or degree; smallest; slightest; †fewest.
22		jelousie	jealousy	Zeal or vehemence of feeling in favour of a person or thing; devotion, eagerness, anxiety to serve. <i>Obs.</i>
		livelie	lively	In a life-like manner; vividly, 'to the life'. Very frequent in the 17th century. ? <i>Obs.</i>
24		overwhelmed	overwhelm	<i>fig.</i> a. To overcome or overpower as regards one's action or circumstances; to bring to ruin or destruction; to crush.
		particular in particular	particular in particular	a. (Each) by itself, one by one, individually, separately, severally; in detail. ? <i>Obs.</i>
27		marciall succour	martial succour	Warlike; brave; valiant; given to fighting. Military assistance in men or supplies; <i>esp.</i> auxiliary forces; reinforcements.
		counsaille	counsel	Opinion as to what ought to be done given as the result of consultation; aid or instruction for directing the judgement; advice, direction.
		amplifie	amplify	To enlarge or extend in space or capacity. <i>Obs.</i>
30		personage	personage	The quality of being a person or persons; personality. <i>Obs., rare.</i>
33		devises	device	Opinion, notion; what one thinks about something. Sometimes it may mean 'opinion offered, advice, counsel'. <i>Obs.</i> (In 15th c. devis and devise. OF. devise, opinion, sentiment.)
34		had made great reverence	reverence	In phr. <i>to pay, †do, or †make reverence to</i> , to show respect or veneration for (a person or thing) by some action.
36		servile	servile	Of personal attributes and action: Befitting, or characteristic of a slave or a state of servitude; God (formerly also, towards any rightful authority). slavish, ignoble. servile fear (Theol.): see <u>fear</u> 3 d.
			<u>fear</u>	3.d. A mingled feeling of dread and reverence towards

page	line(s)	words in text	listings in OED	meaning
		staieth	stay	To detain, hold back, stop (a person or thing); to check or arrest the progress of, bring to a halt; to hinder from going on or going away; to keep in a fixed place or position. Now only <i>literary</i> .
	37	abash	abash	To destroy the self-possession or confidence of (any one), to put out of countenance, confound, discomfit, or check with a sudden consciousness of shame, presumption, error, or the like.
	39	saulfetie merie	merry	= safety Of looks or appearance: †Pleasant, agreeable, bright ( <i>obs.</i> ); hence, expressive of cheerfulness, mirthful, hilarious (in modern use merged in sense 3).
	40	colde	cold	<i>fig.</i> Said of things which chill, or depress the vital emotions, and of the feeling thus produced; gloomy, dispiriting, deadening.
	41	Hardly toucheth	Hardly touch	Boldly, daringly, hardily. <i>Obs.</i>
	43	discover	discover	To take to task, rebuke, reprove, censure; to charge, accuse. <i>Obs.</i>
		auncient	ancient	To divulge, reveal, disclose to knowledge (anything secret or unknown); to make known. <i>Arch.</i>
		education	education	Of or belonging to time past, former, earlier, bygone. <i>Arch.</i>
				The process of 'bringing up' (young persons); the manner in which a person has been 'brought up'; with reference to social station, kind of manners and habits acquired, calling or employment prepared for, etc.
155	6	disordinate	disordinate, <i>Obs.</i>	<i>Obs.</i>
	12	unreverently Preservation your preservation	unreverently, <i>Obs.</i> preservation	Not conformed to moral order, or to what is right, befitting, or reasonable; transgressing the bounds of moderation or propriety; unrestrained, immoderate, inordinate. Irreverently; without reverence. (Common c 1510–1660.) The action of preserving or keeping from injury or destruction; the fact of being preserved (esp. with objective genitive, e.g. your preservation = your being preserved).
	15	generositie	generosity	†High spirit, courage, nobility of conduct ( <i>obs.</i> )
	15–16 16	hath given over simple	simple	Of persons, or their origin: Poor or humble in condition; of low rank or position; undistinguished, mean, common.

page	line(s)	words in text	listings in OED	meaning
		wholie, obs. form of wholly	wholly	Completely, entirely, to the full extent (so that there is no deficiency); altogether, totally, thoroughly, quite.
17		counsaile	counsel	The faculty of counselling or advising; judgement; prudence; sagacity in the devising of plans. <i>Obs.</i> or <i>arch.</i>
18		passionate	passionate	<i>spec.</i> Affected with the passion of love, dominated or swayed by the 'tender passion'. <i>Obs.</i>
22		conserved	conserve	To preserve or maintain in being or continuous existence; to keep alive or flourishing. <i>Obs.</i>
24		conscience	Conscience	Inmost thought; mind, 'heart'. <i>Obs.</i>
		magnanimitie	magnanimity	Lofty courage; fortitude. <i>Obs.</i>
25		immortalized	immortalize	To cause to be remembered or celebrated through all time; to confer enduring fame upon.
26		trophees	trophy	<i>fig.</i> Anything serving as a token or evidence of victory, valour, power, skill, etc.; a monument, memorial.
		monumentes	monument	A carved figure, statue, effigy. <i>Obs.</i> (Often in Shaks.)
27		graven	grave	To engrave (an inscription, figures, etc.) upon a surface. Also, to engrave (a surface) with (letters, etc.). Hence, to record by engraved or incised letters. <i>arch.</i>
		advauced	advance	To put forward (a statement, suggestion, or claim) for notice or acceptance; to put forth, to bring forward; to offer, propose, present.
28		defaced	deface	<i>fig.</i> To blot out of existence, memory, thought, etc.; to extinguish.
		siege	siege	A place in which one has his seat or residence; a seat of rule, empire, etc. <i>Obs.</i> <i>fig.</i> 1566 Painter <i>Pal. Pleas.</i> i. 56 He fixed her so fast in the siege of his remembrance, as if he had been a yonge man. (first citation)
31		amplifie	amplify	To enlarge or extend in space or capacity. <i>Obs.</i>
		restraine	restrain	To forbid or prohibit (one) to do something; to keep back <i>from</i> something desired. <i>Obs.</i>
33		meane	mean	= means
34		tronke	trunk	The main stem of a tree, as distinct from the roots and branches; the bole or stock. b. <i>fig.</i> or in <i>fig.</i> context.
		stocke	stock	The source of a line of descent; the progenitor of a family or race.

page	line(s)	words in text	listings in OED	meaning
		gentle	gentle	Of birth, blood, family, etc.: Honourable, distinguished by descent or position, belonging to the class of 'gentlemen'.
	36	Galatia	Galatia	Galatia, an ancient country of central Asia Minor.
	37	environne the great sea	environ Sea the great sea	Of things: To form a ring round, surround, encircle. the Mediterranean.
	39	Semblablie dilated	semblably dilate	In like manner, similarly. <i>Obs.</i> To spread abroad; to extend, diffuse, or disperse through a wide space or region. <i>lit.</i> and <i>fig. Obs.</i>
156	1	Scythians	Scythian	A person belonging to the race by which Scythia was inhabited; = <u>Scyth</u> .
		a horsebacke	a-horseback, <i>arch.</i>	On horseback
	2	virtuous	virtuous	Of an act: Evincing a manly spirit; brave, heroic, courageous. <i>Obs. rare.</i>
	2-3	exploites	exploit	The endeavour to gain advantage or mastery over (a person or place); an attempt to capture or subdue; hence, a military or naval expedition or enterprise. † <i>in exploit</i> : in action or combat. <i>Obs.</i>
		the sea Ionicum	Ionian	<i>Ionian Sea</i> , the part of the Mediterranean between Greece and Southern Italy; ...
	5	journeis		A military expedition, a campaign, etc. Sometimes, Any military enterprise, as a siege. <i>Obs.</i>
	6	Lidians	Lydian	Pertaining to the Lydians, a people of Asia Minor, or to their country, Lydia.
	9	revenge	revenge, Now <i>rare</i>	Revenge, retribution; †punishment. (Very common c 1540-1650.)
	10	at this present	present	<i>at present</i> , at the present time, now (formerly † <i>at this present</i> ; ...)
	11	subjugated	subjugate	<i>transf.</i> and <i>fig.</i> To bring into bondage or under complete control; to make subservient or submissive.
		Phocians	Phocian	A native or inhabitant of the ancient region of Phocis in central Greece.
	16	Andrionopolis		= Adrianopolis
	17	fierce	fierce	High-spirited, brave, valiant. <i>Obs.</i>
	18	stil	still	With reference to action or condition: Without change, interruption, or cessation; continually, constantly; on every occasion, invariably; always. <i>Obs. exc. poet.</i>



page	line(s)	words in text	listings in OED	meaning
		your own person	person	The actual self or being of a man or woman; individual personality. With <i>of</i> or possessive: <i>his (own) person</i> = himself; <i>your person</i> = yourself, you personally.
	19	intollerable	intolerable	In loose sense, as a strong intensive: Excessive, extreme, exceedingly great.
	25	subjectes		One who is bound to a superior by an obligation to pay allegiance, service, or tribute; <i>spec.</i> a feudal inferior or tenant; a vassal, retainer; a dependant, subordinate; an inferior. <i>Obs.</i>
		vassals	vassal	A base or abject person; a slave.
	28	high bishop	bishop	<i>transf.</i> Formerly applied to: A chief priest of any religion; <i>e.g.</i> a chief priest or High Priest of the Jews, a Roman pontiff ('high' or 'principal bishop' = pontifex maximus), Muslim Caliph, etc. <i>Obs.</i>
		pope	pope	In early times, A bishop of the Christian Church; <i>spec.</i> in the Eastern Church, the title of the Bishop or Patriarch of Alexandria.
		convocated	convocate	<i>trans.</i> To call or summon together; to assemble or bring together by summons. <i>arch.</i>
	30	over run	overrun	<i>fig.</i> To overwhelm, overpower, crush. <i>Obs.</i>
	32	Sophi	Sophy	A former title or designation of the supreme ruler of Persia; the Shah.
		capital	capital	Said of an enemy or enmity: Deadly, mortal. <i>Obs.</i>
		Souldan	obs. f. of <u>Soldan</u>	The supreme ruler of one or other of the great Muslim powers or countries of the Middle Ages; <i>spec.</i> the Sultan of Egypt.
				The Soldan is sometimes contrasted with the (Great) Turk and with the Sophy of Persia.
	34	consumed	consume	To make away with, use up destructively. Said chiefly of fire: To burn up, reduce to invisible products, or to ashes; also of any similar destructive or 'devouring' agent.
	37	trade	trade	A course, way, path; with possessive or of, the course trodden by a person, or followed by a ship, etc.; = <u>tread</u> <i>Obs.</i>
	40	generosity	generosity	†High spirit, courage, nobility of conduct ( <i>obs.</i> ). = cut off
		cutte of		
	43	desperate	desperate	Of a person: Having lost or abandoned hope; in despair, despairing, hopeless. (Const. <i>of.</i> ) <i>Obs.</i> or <i>arch.</i>
	6	prove	prove	To try, endeavour, attempt, strive. <i>Obs.</i>

page	line(s)	words in text	listings in <i>OED</i>	meaning
157	7	passing	passing	(= <i>passingly</i> ). In a passing or surpassing degree; surpassingly, pre-eminently, in the highest degree; exceedingly, very. (With adjs. or advbs. only.) Now somewhat <i>arch</i> .
	8	used	use	To spend or pass (a period of time) in a certain way.
	9	resteth	rest	To remain to be done. <i>Obs</i> .
	14	according to	according	<i>According to</i> . b. Suitably to, with respect or reference to. <i>Obs</i> .
	15	wonted clemencie	wonted clemency	Accustomed, customary, usual. Now <i>arch</i> . Mildness or gentleness of temper, as shown in the exercise of authority or power; mercy, leniency. Suitably to, with respect or reference to. <i>Obs</i> .
	27	belly	belly	The internal cavity of the body; the 'inside.'
	28	sundry	sundry	Individually separate; that is one of a number of individuals of a class or group. Usually with pl. n. or sing. n. in pl. sense: Various, (many) different. <i>Obs</i> .
	30	unreverently education	unreverently, <i>Obs</i> . education	Irreverently; without reverence. (Common c 1510–1660.) The process of 'bringing up' (young persons); the manner in which a person has been 'brought up'; with reference to social station, kind of manners and habits acquired, calling or employment prepared for, etc. <i>Obs</i> .
	32	purpose	purpose	That which forms or ought to form the subject of discourse; the matter in hand; the point at issue. Now only in phr. <i>to the purpose</i> (formerly † <i>to purpose</i> ): ....
	33	puissance	puissance, Now <i>arch</i> .	Power, strength, force, might; influence.
	34	bridle Take order	bridle order	In military sense: To hold in check, control. Disposition of measures for the accomplishment of a purpose; suitable action in view of some particular end; <i>to take order</i> , to take measures or steps, to make arrangements. <i>Obs</i> . or <i>arch</i> .
	36	middes	mids	The middle, middle part or point; the midst. Chiefly in phrase <i>in (the) mids (of)</i> . <i>Obs</i> . exc. <i>Sc</i> .
	38	made more of her	make	<i>to make much of</i> : often, to treat with marked courtesy and show of affection

page	line(s)	words in text	listings in OED	meaning
	41	decke	deck	To clothe in rich or ornamental garments; to cover with what beautifies; to array, attire, adorn.
	42	wenche	wench	A female servant, maidservant, serving-maid; also †handmaid, †bondwoman.
	2	sithens	sith	Seeing that; = <i>since conj.</i> 4. Now <i>arch.</i> or <i>poet.</i> Very common from c 1520 to c 1670, being freq. used to express cause, while <i>since</i> was restricted to time.
158	3	abrode	abroad	Out of one's house or abode; out of doors; out in the open air.
	4	accordinge	according	According as: Consistently as, exactly or just as, in a manner corresponding to the way in which ...
	6	otherwise	otherwise	Predicatively, approaching an adj.: In another state or condition; differently conditioned or existing; not so; different; other.
		wonted	wont	To be wont or accustomed; to be in the habit of (doing that which is expressed by the inf.). Chiefly in pa. tense. = used
		accompanied... with	accompany	To go in company with, to go along with; to convoy; to escort (for safety), to attend (as a retinue). (The passive formerly took <i>with</i> , now <i>by</i> .)
	7	garnished	garnish	<i>pass.</i> To be furnished with a retinue; to be attended or accompanied. <i>Obs.</i>
	12	mutine	mutine, <i>Obs.</i>	To think or say mutinously. <i>Obs.</i>
	17	give her over	give	<i>give over</i> To abandon, desert (a person, cause, etc.). <i>Obs.</i>
	21	barbarous		Savage in infliction of cruelty, cruelly harsh.
	26	incontinently	incontinently, <i>arch.</i>	Straightway, at once, immediately; = incontinent <i>adv.</i>
	28	falchion	falchion	A broad sword more or less curved with the edge on the convex side.
		folding	fold	To place in a spiral or sinuous form; to coil, wind.
	32	foure score	fourescore	Four times twenty, eighty. Formerly current as an ordinary numeral; now <i>arch.</i> or <i>rhetorical.</i>
	33	percing	pierce	To force one's way through or into; to succeed in penetrating; to break through or into; to break (an enemy's line).
	36	surnamed	surname	To call by another or additional name; to attach another appellation or designation to; more widely, to designate, entitle. <i>Obs.</i>

